

DNW-15001 の概要

課題番号 : DNW-15001

課題名 : 新規がん免疫アジュバントの探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

松本 美佐子 (国立大学法人北海道大学大学院医学研究科)

自然免疫受容体とその下流分子 X 経路をターゲットとして新たながん免疫アジュバントの開発に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト: 本経路を選択的に活性化する物質は、強力ながん免疫アジュバント効果を示し、有害な炎症性サイトカインの産生を誘発しない。

以下のことが PI らにより報告されている。

- 1) 腫瘍の退縮効果: 物質 Y は、マウス腫瘍モデルに対し、単独および抗原との併用投与により腫瘍の退縮効果を示した一方、炎症性サイトカインの産生を誘発しなかった。
 - 2) 免疫系の活性化: 物質 Y と抗原の併用投与群では、抗原特異的な細胞傷害性 T 細胞 (CTL) の誘導、およびナチュラルキラー (NK) 細胞活性化を引き起こす IFN γ の産生が亢進していた。
 - 3) ターゲットの検証: 下流分子 X の KO マウスでは、物質 Y は抗腫瘍活性を示さなかった。
- 新規物質: 本経路を活性化する物質 Y を見出した。
 - 創薬コンセプトの妥当性を検証中である。
 - 知財対応: 免疫増強剤をデザインした知財を確保しており、利用可能である。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。